

平成 29 年度事業計画について

当会は、平成 28 年 10 月に創立 70 年の節目を迎えた。前年度に開始した記念事業を継続し、九州・沖縄・山口の未来を拓くシンクタンクを目指す。また当会の事業の柱である、地域経済研究事業と経済図書館（BIZCOLI）事業、講演会・セミナーは、内容を充実させながら引き続き実施する。その他、経済団体等支援事業や社会貢献活動等を通じて広く地域貢献を行い、九州地域経済の発展に向けた事業を推進する。

■平成 29 年度の当会の事業構成

1. 創立 70 周年記念事業	5. 経済団体等支援事業
2. 地域経済研究事業	6. 社会貢献活動等
3. 講演会・セミナーの開催	7. 運営基盤の拡充
4. 経済図書館（BIZCOLI）事業	

1. 創立 70 周年記念事業

平成 28 年度に開始した創立 70 周年記念事業は、地域貢献の観点に立ち、九州地域経済の将来を見据えて、前年度に続いて 4 つの事業を推進する。

- ① 「九州地域経済と九経調の 70 年史」の作成
- ② 「30 年後に向けた九州地域発展戦略」に関する研究
- ③ 九州・沖縄・山口各県の未来を考えるシンポジウム等の開催
- ④ ビッグデータを活用した新たな情報サービスの提供

2. 地域経済研究事業

九州・沖縄・山口の発展に寄与する地域経済・産業に関する調査研究の実施ならびに助成を行う。

（1）自主研究事業

①九州経済白書の刊行

「九州経済白書」は、その年の経済・社会情勢を踏まえて、毎年テーマを変えながら調査・研究を行っている。近年は、平成 26 年度に「都市再構築」、27 年度に「中核企業」、28 年度に「人材枯渇時代」をテーマとして取り上げた。第 51 回目となる平成 29 年度も、九州・沖縄・山口においてタイムリーで、かつ重要なテーマを設定し、研究を行う。

②月報等定期刊行物の発行

「九州経済調査月報」は、九州・沖縄・山口の経済動向を見据えながら、毎月テーマを設定して刊行している。平成 29 年度は、さらに地域経済の実態把握に力を入れ、創立 70 周年記念事業とも連動しながら、景気動向や調査レポート等、会員ニーズの高い情報を提供する。

「データ九州」は、当会オリジナルなデータ情報として活用されている。毎年度 4 回刊行しており、海外進出企業一覧、設備投資一覧（上期、下期）などの一次統計資料をまとめる。

「図説九州経済」は、九州地域経済の概要を図表や地図情報、データで解説する資料として、毎年度 1 回刊行している。平成 29 年度も、正確かつ使いやすい情報を提供する。

③幹事会からの提案による自主研究

幹事会での提案を受けて、平成 29 年度の自主研究事業として、「ITS を起点とした産業、地域の活性化」をテーマに調査を行う。ITS (Intelligent Transport Systems : 高度道路交通システム) とは、IT (情報技術) を使って人と車両と道路を結び、安全性や輸送効率など様々な道路交通課題を解決するためのシステムである。IoT (Internet of Things : モノのインターネット) の一分野であり、政府の「日本再興戦略 2016—第 4 次産業革命に向けて—」にも個別プロジェクトとして記載されている。平成 28 年度の「道を生かす～九州の道路ストック活用調査」の成果も踏まえつつ、「ITS」を切り口として、九州の次世代のリーディング産業づくりや地域振興の道筋を検討する。

④その他の事業

- A. 定期刊行物の発行（九州経済の見通し（当初、改訂）、新年のキーワード、等）
- B. 国内研究会の開催、参加（九州・山口地方銀行調査担当部長会議、地方シンクタンク協議会、等）
- C. 国際会議の開催、参加（釜山・福岡の交流拡大に向けたシンポジウム（仮称）、日韓海峡圏研究機関協議会、福岡・釜山フォーラム、等）

（2）受託研究事業

受託研究事業は、地域経済に関する調査研究の蓄積、分析スキルの向上、人脈形成等を通じて、自主研究を支えるとともに、産学官をつなぐ要の役割を果たしている。当会では毎年度、国・県・市町村からの委託を中心に、50～60 本の受託調査を実施している。平成 29 年度は、前年度に続き創立 70 周年記念事業をはじめとする自主研究事業や会員サービスに力を入れることから、受託研究事業の本数を絞りつつも、引き続き地域社会のニーズに応えた研究と提言を実践していく。

（3）九経調地域研究助成・顕彰事業

実践的な地域研究者の発掘と育成、九州地域経済の活性化に向けたアイデアの掘り起しを目的に、企業からの支援と大学との連携により、九経調地域研究助成・顕彰事業を行う。地域研究助成では、地域浮揚につながるテーマを募集し、優れた提案に対して研究費を助成する。提出された論文の中で優秀な作品については顕彰し、研究発表会にて表彰式とプレゼンテーションを行う。

3. 講演会・セミナーの開催

当会の調査結果を広く伝える説明会やセミナー、BIZCOLIでのセミナーやイベント等、多様なテーマで開催する。

(1)九州・沖縄・山口でのセミナー等	
①九州経済白書説明会	九州経済白書の刊行にあわせて、九州・沖縄・山口12都市で説明会を開催する
(2)定例の講演会・セミナー	
①九経調交流会	会員の関心に合った講演会と懇親会を開催する
②研究報告会	幹事会提案によるテーマにて成果報告会を開催する
③アジア経済講演会	ジェトロ・アジア経済研究所との共催で講演会を開催する
④調査技法セミナー	若手調査マンを対象とした調査ノウハウを伝えるセミナーを開催する
⑤経済講演会	我が国や九州経済の今を知る講演会を開催する
⑥九経調地域研究助成・顕彰事業研究発表会	地域研究助成事業において助成した論文やテーマ応募のあった論文、さらには自由応募の論文の中から、優秀作品の顕彰とプレゼンテーションによる研究発表会を開催する
(3)BIZCOLIでのセミナー・イベント	
①イブニングセミナー	研究員や外部の専門家が講師を務める多様なテーマでセミナーを開催する
②共催セミナー	会員等との共催により、時宜にかなったテーマでセミナーを開催する
③経営・スキルアップセミナー	経営の最前線において、技能アップにつながるテーマでセミナーを開催する
④地域応援セミナー	九州の特定の産業や地域をテーマにセミナーを開催する
⑤九州国立博物館応援セミナー	九州国立博物館の企画展に合わせたセミナーを開催する
⑥サイエンス・カフェ	科学者と市民が科学について気軽に語り合う勉強会を開催する
⑦文化セミナー	地域の文化、芸術に関連したテーマにてセミナーを開催する
⑧ビズコリクラブ	社会経済や文化に関する教養的なセミナーを開催する
⑨アートイベント	芸術をテーマとしたイベントを開催する
⑩ビズコリテック	最先端技術の思想や未来を学ぶためのセミナーを開催する
⑪新しいまちづくりセミナー	まちづくりの考え方や新手法を学ぶためのセミナーを開催する
⑫女性セミナー	企業で活躍する女性社員を対象に、経済界のトップが講師を行うセミナーを開催する

4. 経済図書館（BIZCOLI）事業

BIZCOLI は「九州・沖縄・山口における知の集積・交流・創造拠点」をコンセプトに据え、地域経済図書館としてサービスを強化し、地域や会員のニーズに応じていく。

(1) 地域経済図書館としてのサービス	
●最新の専門書や統計書の収集・蓄積	●地域経済情報やデータの照会サービス
●書籍、映像、新商品の常設展示・企画展示等	
(2) ネットによる情報発信	
●ホームページによる情報提供	●メールマガジン“Kyushu Business Headline”の配信
(3) 講演会・セミナー会場の運営	
●自主企画によるセミナー会場としての活用	●外部へのセミナー会場の提供
(4) スキルアップのための個室空間の提供	
●マイデスクゾーン	

5. 経済団体等支援事業

地域を支える経済団体や産業に特化した団体等の事務局を受託し、引き続き運営を行っていく。

(1) 福岡経済同友会からの事務局受託	事務局運営にあたり、当会の調査研究ノウハウを活かした提言や意見書の取りまとめを行うほか、同友会と九経調との共催・連携事業を実施する。事務局業務と九経調業務との連携を最大限に発揮した活動を行う
(2) 九州経済を考える懇談会の共同事務局	九州の各経済団体のトップが一堂に会する会議で、九州の最重要課題や将来展望について自由に議論する。当会理事長がコーディネーターを務めており、平成 29 年度も引き続き共同事務局を受託して計画・運営にあたる
(3) 地域政策デザイナー養成講座の事務局	中堅・若手の社会人、大学院生を対象に、各界の有識者や専門家の講義を聴き、討論を重ねながら具体的な政策提案をする九州大学セミナーである。平成 29 年度も開講され、事務局の一員として講座の運営を支援する
(4) 九州水フォーラム 2017 の事務局	世界及び九州の水問題について、その解決策を考え、情報を発信する「九州水フォーラム 2017」の開催について、イベントの企画とその準備を支援する

6. 社会貢献活動等

社会貢献活動として、以下の活動を行う。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| (1) 行政機関・経済団体等が開催する各種審議会・委員会への委員派遣 | (5) 新聞・雑誌等への寄稿・コメント掲載 |
| (2) 大学への非常勤講師の派遣 | (6) 国内外の会議への参加 |
| (3) 個別テーマの講演依頼による講師派遣 | (7) インターシップの受入等 |
| (4) テレビ・ラジオ等への出演 | |

7. 運営基盤の拡充

協会を持続的に運営していくために、会員数の維持・拡充に努めて基盤を強化するとともに、理事会、評議員会の定期開催はもちろん、幹事会と企画委員会、参与会を開催して地域問題の解決に向けて議論を行っていく。

(1) 会員数の維持・拡充	各種事業を通じた会員満足度の向上を図るとともに、賛助会員やBIZCOLI会員の増加に努める
(2) 理事会、評議員会、幹事会、企画委員会 参与会の開催	定款にもとづく理事会、評議員会を開催する。幹事会では、次年度に行う自主研究のテーマについて検討する。幹事会の前には企画委員会を開催して、幹事会に諮る自主研究テーマを議論する。国の出先機関の局長等で構成する参与会には、当会の役員等も参加し、産官による意見交換を開催する
(3) 研究員の育成	研究員の専門性を高めるため、研修や学会活動への参加を促す。また、海外の研究機関との交流拡大に努める